

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とリモコン受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 電源を通電せずに蓄電池コネクタを接続したままで放置しないでください。非常時に点灯しません。
- 長時間使用しない場合は、蓄電池を消灯するまで放電させた後、蓄電池コネクタをはずしてください。
- 蓄電池を有効に動作させるため、定期的(6ヶ月に1回が望ましい)に十分な放電を行なってください。
- 万一高温雰囲気中(140℃以上)で使用した器具は再使用せず、必ず新しいものに交換してください。

■ランプについて

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■蓄電池交換について △注意 蓄電池交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

1 電源を切る

2 グローブを取外す

- 施工手順2を参考にグローブを取外す。

3 ランプ・遮光板を取外す

- ランプを取外し、遮光板を支えながら遮光板取付ナットをゆるめて取外す。

4 古くなった蓄電池を取外す

- コネクタをはずし、フタを矢印方向にはずして蓄電池を取外す。

5 新しい蓄電池を取付ける

- 施工手順4を参考にコネクタを接続する。

6 遮光板・ランプを取付ける

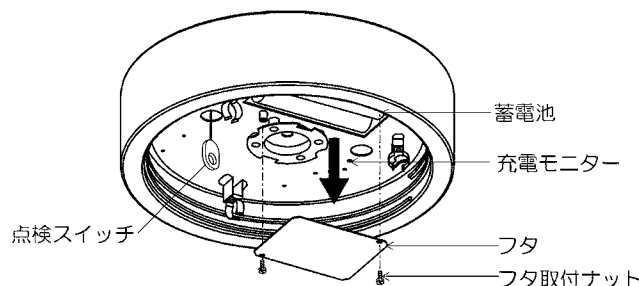
- 施工手順5、6、8を参考に遮光板・ランプを取付ける。

7 点灯の確認を行なう

- 電源を通電する。
点検スイッチを引いて充電モニターの点灯を確認する。
- ※蓄電池は4～6年が交換の目安です。
- ※蓄電池の交換は必ず適合蓄電池を使用してください。
- 適合蓄電池 4HR-5/4SCUT

8 グローブを取付ける

- 施工手順9を参考にグローブを取付ける。
- ※ヒューズの交換は5A管形ヒューズをご使用ください。



この製品には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池の交換、およびご使用済の製品の廃棄に際しては、ニッケル水素電池を取りだし、リサイクルへご協力ください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- 蛍光ランプの両端が黒ずみだしたら交換時期です。
長い間使用していると知らないうちに暗くなってきます。定期的に交換しましょう。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

保証とアフターサービスについて

保証について

- ・この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ・ランプ(LED電球含む)、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- ・ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ・ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

コイズミ照明株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 AR38877F・AR38878F

〔蓄電池内蔵型〕



お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死にまたは重傷を負う可能性が想定される内容です。	
⚠ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。
⊘ 禁止	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。
⊘ 禁止	この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。
	この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障の原因になります。
	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井・壁取付両用器具です。傾斜天井には取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
⊘ 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
⊘ 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。 器具やLEDを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
⚠ 厳守	電源は専用回路とし、途中にはスイッチを設けないでください。 →非常点灯しない原因になります。
⚠ 厳守	アース端子(線)が付いている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行なってください。 →アースが不完全な場合は感電の原因になります。
⚠ 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。
⚠ 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使わないでください。 →火災・感電の原因になります。

 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やLEDが高温のため 触らないでください。 →やけどの原因になります。	 禁止	ガス機器など、温度が高くなるものの上への取 付けや、器具の下にストーブなどの高温のもの を置かないでください。また、燃えやすいもの を近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
	ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要 です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。		24時間充電を行い、その後非常点灯の確認をし てください。 →十分な充電がされていない場合、非常点灯し ません。
 禁止	蓄電池を分解したり、火や水に投入しないでく ださい。 →火災・感電・破裂・やけどの原因になります。	 厳守	照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異な りますが、一般的な使用状況で8~10年が目安 です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)に よる点検を実施していただき、不具合がありま したら適切な処置を施してください。 →放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ	非常時	適合ヒューズ
AR38877F AR38878F	AC100V	0.18A	10.3W	LDF10H53C12	Ni-MH蓄電池 4HR-5/4SCUT 4.8V 3000mAh FHC 20×1(光束比50%)	5A管形 ヒューズ

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

取付ボルトはW3/8またはM10を使用する。

2 取付面が十分乾燥していることを確認する

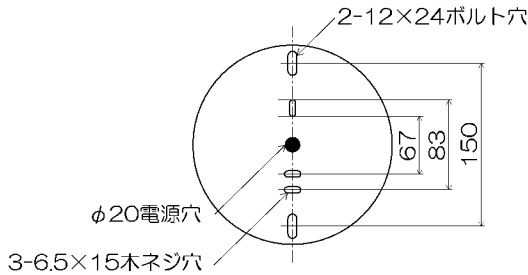
器具や取付面の変色の原因になります。

3 メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営物に取付ける場合

器具の金属部分と電氣的に接続しないように施工する。

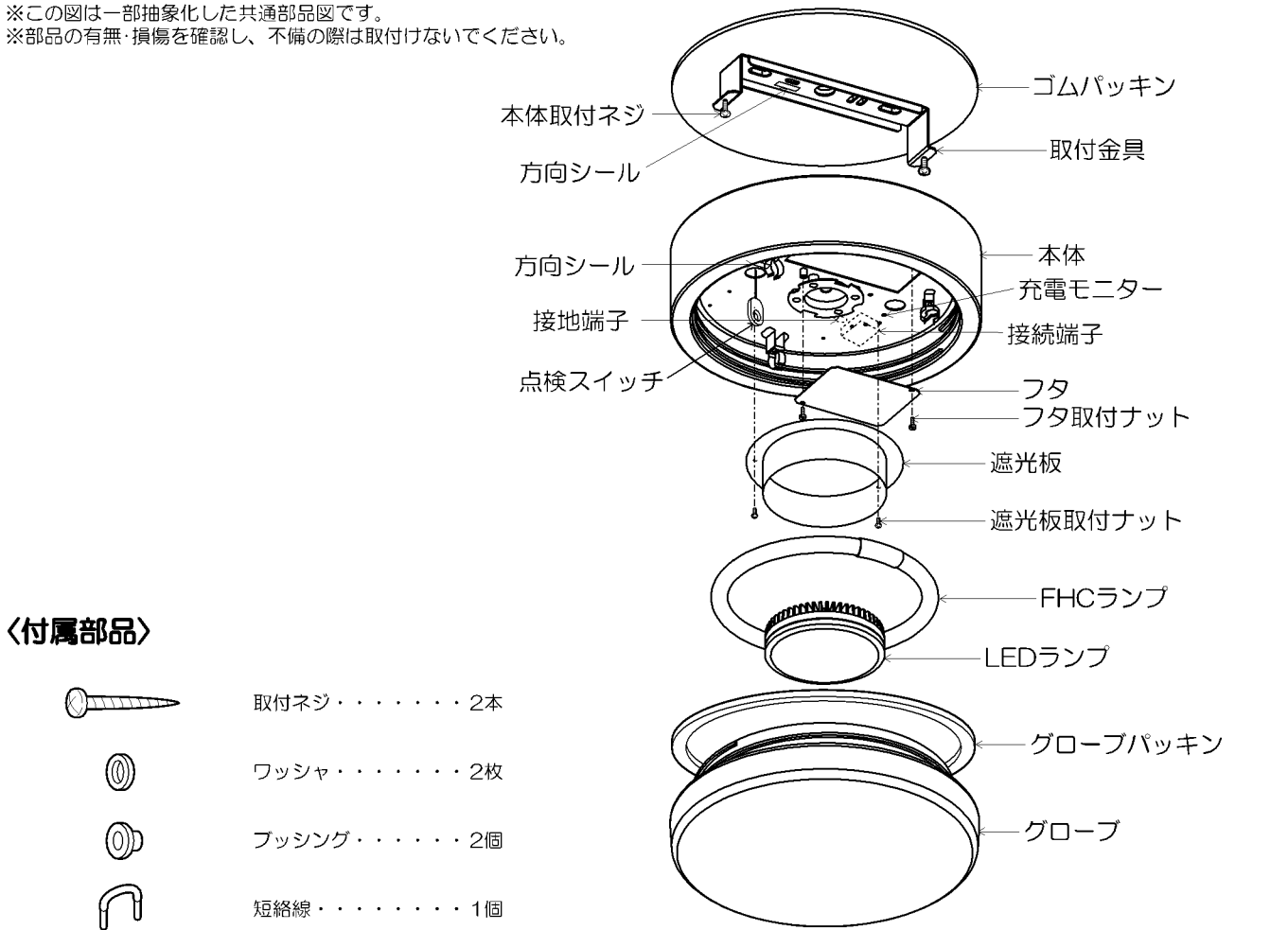
4 取付ピッチ

右図は器具を取付面から見た図です。



■施工手順 ⚠ 注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



1 取付金具を取付ける

ゴムパッキン、取付金具に電源線を通し、
ブッシング、ワッシャ、取付ネジで取付ける。

⚠ 警告 壁面に取り付ける場合は方向シールに
従って取付けてください。

指定方向以外に取付けた場合は
火災・感電の原因となります。

2 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被
覆をむき、接続端子に確実に差し込む。
また、送り配線は照明器具専用とする。
(接続端子の容量は15A)はずす時は解除
ボタンを押し、電源線を抜く。

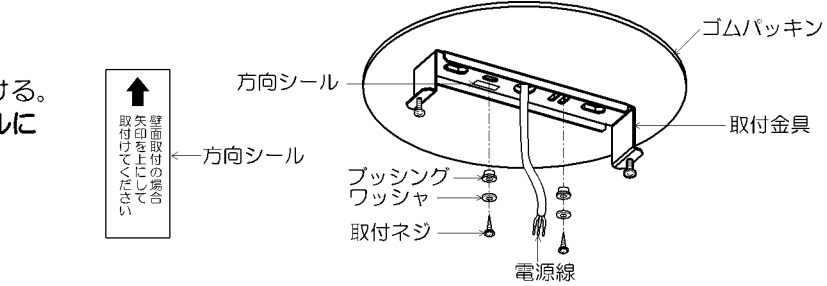
※D種(第三種)接地工事を行なう。

⚠ 警告 電源の接続は確実に
行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因に
なります。

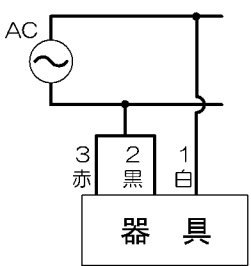
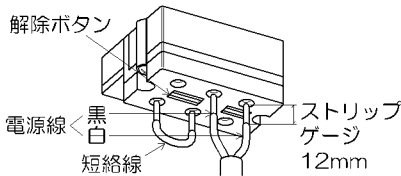
※常時点灯方式では、分電盤と接続端子の
間に消灯スイッチは設けないでください。

※常時消灯する場合は、所轄消防署の承認
が必要です。

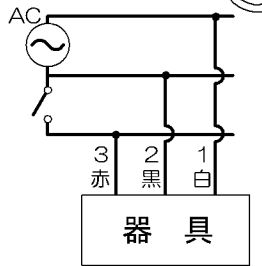
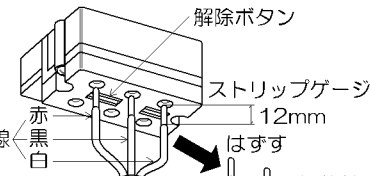
※常時消灯する場合は、短絡線をはずして
ください。



・常時点灯方式(2線式)



・常時消灯方式(3線式)

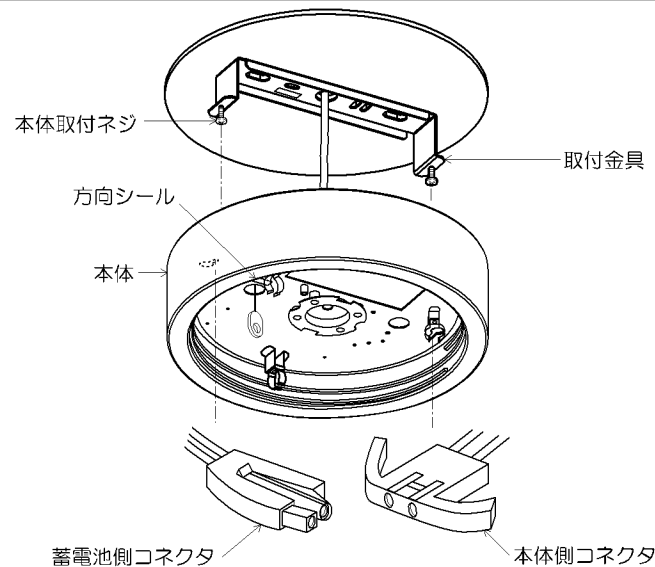
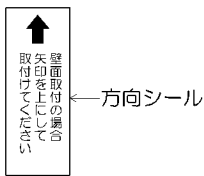


3 本体を取付ける

本体を取付金具に合わせ、本体取付ネジで取付ける。

△警告 壁面に取り付ける場合は方向シールに従って取付けてください。

指定方向以外に取付けた場合は火災・感電の原因となります。

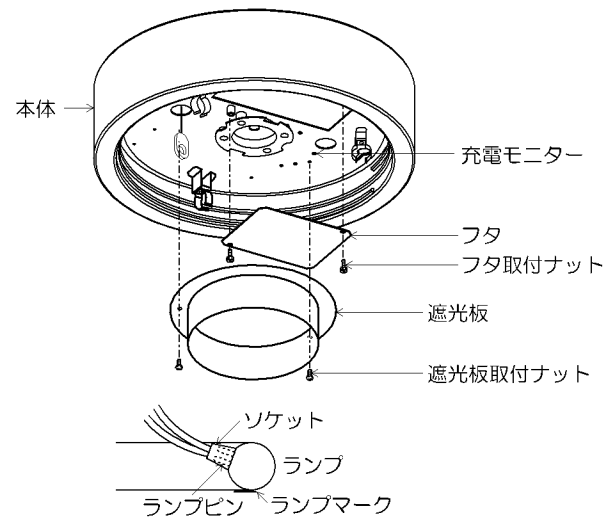


4 コネクタを接続する

蓄電池側コネクタを本体側コネクタに接続し、電線をボックス内に入れる。
※接続が不完全な場合、非常点灯しません。

5 フタと遮光板を取付ける

フタを本体に合わせ、フタ取付ナットで取付けた後、遮光板を本体に合わせ、遮光板取付ナットで取付ける。



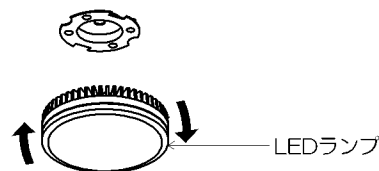
6 FHCランプを取付ける

ランプマークを下側にしてランプ支持バネに取付け、ランプピンをソケットに確実に差し込む。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。

7 充電モニターの確認を行なう

充電モニターが点灯しているか確認をする。点灯していれば充電中です。
しばらく充電後、点検スイッチを引き下ろしたまま点灯すれば正常です。
※点検時はLEDランプを外した状態で点検スイッチを操作してください。
※点検時以外は点検スイッチを操作しない。



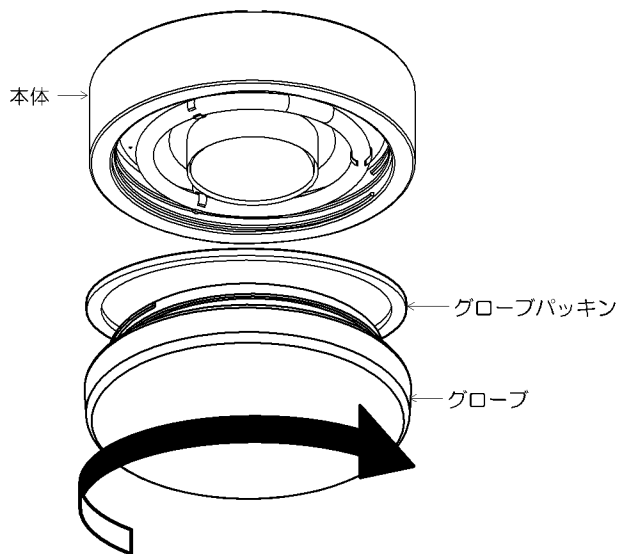
8 LEDランプを取付ける

LEDランプをソケットに合わせて、右に回して確実に取付けてください。

9 グローブを取付ける

グローブ・グローブパッキンを本体に合わせ、矢印方向に回して取付ける。この際グローブパッキンがよじれたりしないように確実に取付ける。

※無理な力は加えないでください。



10 点灯の確認を行なう

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

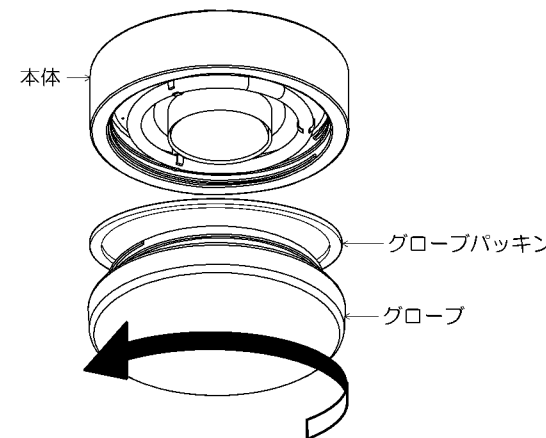
△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

△注意 ランプホルダー(ソケット)やランプ支持バネを強く弾かないでください。ランプの破損・けがの原因になります。

1 電源を切る

2 グローブを外す

グローブを矢印方向に回して本体より取外す。

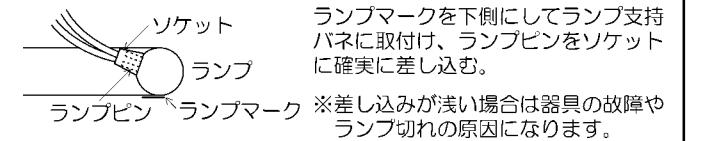


3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

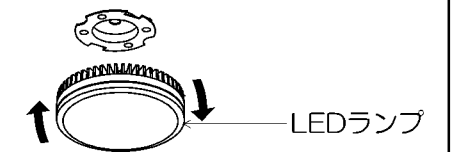
<FHCランプの場合>

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。落下によるけがの原因になります。



<LEDランプの場合>

LEDランプをソケットに合わせて、右に回して確実に取付けてください。



5 グローブを取付ける

■施工手順9を参考にグローブを取付ける。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具の定期点検 点検については消防庁告示第3号及び第14号に定められています。必ず行ってください。

1 外観点検(3ヶ月に1回以上、工事店等の専門家による外観点検をお勧めします。)

・破損、変形等の異常がないか点検してください。

2 機能点検(6ヶ月に1回は必ず、行ってください。)

・蓄電池に充電していることを表示する充電モニターがついています。緑色のモニターが点灯しているか点検してください。点灯していれば、充電回路は正常です。点灯していないときは、蓄電池コネクタが確実に接続されているか調べてください。
・非常点灯試験の結果、点灯持続時間が30分以下の場合は、新しい蓄電池と交換してください。蓄電池はコネクタからはずして交換してください。口出し線を切断したりすると電池の破損や逆接続の原因になります。
・点検終了後、点検結果を下記に記入してください。

設置場所

設置年月日

点検年月日	点検項目			点検者		点検年月日	点検項目			点検者		点検年月日	点検項目			点検者
	外観	蓄電池	ランプ				外観	蓄電池	ランプ				外観	蓄電池	ランプ	

！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。